


施設名	鹿児島港旧石積防波堤								
所在地	鹿児島県鹿児島市								
管理者等	鹿児島県								
施設種類・分野	港								
施設概要 (明治期との関連含む)	<p>鹿児島本港区の北埠頭にあり、全長約345mの防波堤である。その防波堤は、新波止・第一防波堤・一丁台場の3つに分かれている。新波止は江戸時代(弘化年間頃)に、一丁台場は明治5年頃に築造され、その間をつなぐ遮断防波堤は鹿児島県の修築事業により明治37年に竣工した。南九州における交通と海防の拠点として整えられた鹿児島港の代表的遺構である。</p>		文献3より引用						
築造時期	明治初期	時期詳細	明治5年						
関連人物	—								
関連企業	—								
トピックス (特徴的エピソード)	<p>名前のとおり、石積みの巻石防波堤である。新波止の石積みは緩やかな曲線を描いており、一丁台場の斜面は階段状の石積みである。その間を結ぶ遮断防波堤は、新波止と同じような美しい局面を持っている。新波止は目地に何の処置もしていない積み上げであるが、遮断防波堤は、目地にモルタルが埋められ堅固さを感じさせる。石積み防波堤としては全国でも最大規模であり、一丁波止場ができてからでも130年以上経過しており、歴史的価値の高いものとなっている。(文献2参考)</p>								
歴史的な遺産等の指定の有無等	○	選奨土木遺産(土木学会)	○	文化財(文化庁)	登録有形文化財(建造物)	近代化産業遺産(経産省)	—	世界遺産(ユネスコ)	—
その他 (関連資料、文献)	<p>文献1:土木学会 選奨土木遺産解説シート (http://committees.jsce.or.jp/heritage/node/299) 文献2:土木紀行 鹿児島港旧石積防波堤(建設マネジメント技術 2008年12月号)</p>								
管理者等のHP (URL等)	鹿児島県 http://www.pref.kagoshima.jp/ba08/yuukeibun.html								